

.....

● ●

.....

1

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者 A	年齢[26]歳、 勤続年数[4]年、 現場経験年数[4] 年、 階級[消防士]、 同様の活動 [初めて]、 任務 [機関員]
○当事者 B	年齢[49]歳、 勤続年数[30]年、 現場経験年数[30]年、 階級[消防司令補]、 同様の活動 [初めて]、 任務 [車長]
○当事者 C	年齢[46]歳、 勤続年数[27]年、 現場経験年数[27]年、 階級[消防士長]、 同様の活動 [初めて]、 任務 [車長]
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	

11. 事例発生経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	A が	ポンプ車を運転し、 上り坂道を走行していた	
経過 2	B、C は	林道が狭路だったので、 下車し、車両誘導していた	
経過 3	B は	ホースカーを降ろすため、 C に停車するよう指示した	
経過 4	C は	停車するように A に指示した	
経過 5	B は	ホースカーを降ろし、 ホースを取り出していた	
経過 6	C は	B から、前進してもいいと言われたので A に走行指示した	
経過 7	A は	発進させたが、 坂道だったので少し後退した	
経過 8	B は	車両が後退しているのを 知らずに活動していた	
経過 9	周囲の隊員が	機関員に、挟まれ危険を知らせた	
経過 10	A は	緊急停止した	

【その事例発生時の状況について】

[illegible]

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

指揮者が適切に指示した。他隊(員)から適切な注意を受けた。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならぬという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・ 活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・ 活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・ 活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・ 体調が悪かった。	いいえ
・ 悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・ 装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・ 装備・資機材の使用 방법이誤っていた。	いいえ
・ 装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・ 必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・ 障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・ 特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・ 狭隘な場所であった。	はい
・ 暑かった（寒かった）。	いいえ
・ 野次馬が多かった。	いいえ
・ 現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・ 足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・ 足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・ 活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・ 指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・ 指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・ 隊員の連携が不十分だった。	はい
・ 隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

いいえ

・発生日時 : 平成21年5月11日 午前10時頃

経過	現場の状況	隊員A(機関員)	隊員B(車長)	隊員(車長)	備考
		隊員／消防士 ・年齢 26 歳 ・勤続 4 年 ・現場 4 年 ・同様の活動: 初めて	隊員／消防司令補 ・年齢 49 歳 ・勤続 30 年 ・現場 30 年 ・同様の活動: 初めて	隊員／消防士長 ・年齢 46 歳 ・勤続 27 年 ・現場 27 年 ・同様の活動: 初めて	
出動指令	出動指令				林野火災の消火活動に出動
出動途中	現場出動途上				
	ポンプ車を運転し、登り坂道を走行				
	林道が狭隘になる				
			下車し、車両誘導を開始		
			ホースカーを降ろすため、隊員Cに停車させるよう指示		
				隊員Aに停車を指示	
	車両停車	停車させる			
			ホースカーを降ろし、ホースの取り出しを開始		
			隊員Cに車両を前進させるよう指示		
				隊員Aに車両を前進させるよう指示	
現場到着	車両を発進させる				
	坂道のため車両が少し後退する				
			車両が後退していることに気づかず、車両後方で活動を継続		
				隊員Bが車両とホースカーに挟まれる危険性に気づき、隊員Aに知らせる	
	車両停車	車両を緊急停車させる			
活動降初期					

◎ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

○直接的な原因: 情報入力に問題があった。行動の意志決定に問題があった。
・指揮者が適切に指示した。
・他隊(員)から適切な注意を受けた。

◎ヒヤリハットが起きた背後要因

(心理・体調について)
・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。
・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。
(活動環境について)
・狭隘な場所であった。
(指揮・管理について)
・隊員の連携が不十分だった。